

朝日中学校区笑顔いっぱい仲良しプロジェクト

～あいさつ運動を中心に地域を盛り上げる～

刈谷市立朝日小学校
＜連携校：東刈谷小学校＞

1 実践のねらい

- 同じ中学校へ進学する二つの小学校が協力して中学校区を発展させる活動に取り組むことで、地域の一員としての自覚を高め、地域を愛する心を育てる。
- 二つの小学校だけでなく、幼稚園や保育園、中学校とも協力して教育活動に取り組むことで、仲間意識や思いやりの心を地域に広げる。

2 実践の内容

(1) 朝日小・東刈谷小サミット

二つの小学校が一緒になってプロジェクトを行うための話合いの場として、児童会役員による2回のサミットを6月と7月に行った。

第1回のサミットでは、プロジェクトのねらい、活動内容、今後の計画について確認した後、学校や地域の挨拶の実態を基に、スローガンを考えた。楽しく笑顔で挨拶ができるようにしたいという願いをこめ、「あいさつまつり」に決定した。しかし、これだけでは、あいさつ運動の意義が十分に伝わらないと考え、「盛り上げよう あいさつの町 いつでも 笑顔で だれとでも」をサブスローガンとした。



【朝日小・東刈谷小サミット】

第2回のサミットでは、両校のあいさつまつりの実施方法について話し合った。計画している校内や地域での取組を発表し合い、互いの計画を参考にして各校の計画を練り直すよい場になった。また、地域の方を招いて行う総会の進め方についても話し合った。

(2) あいさつまつり（運動）

児童会役員を中心に活動内容を考え、以下のように実践した。

ア 校内での取組

- ・挨拶の実態調査（全校アンケート）（6月・12月）
- ・挨拶をするよさについての学級での話合い（7月）
- ・あいさつまつり横断幕の図案募集（7月）
- ・あいさつまつりポスターの募集（9月）
- ・あいさつクイズの実施（昼の放送）（10月）
- ・あいさつキラキラ賞（11月）



【あいさつまつり横断幕の図案】

イ 地域での取組

学区の幼稚園や保育園、市民センター等を訪問して、あいさつまつりの趣旨や活動内容を説明し、制作した横断幕を掲示していただいた。また、商店にはポスターを掲示していただいた。さらに、地域の回覧板であいさつまつりの活動をお知らせし、協力をお願いした。

あいさつまつり（運動）を10月と11月の月曜日と交通事故死0の日の朝に実施した。児童会役員と生活委員が校門と通学路にある二つの交差点で、たすきやマスコットキャラクターのお面をつけて、元気よく「おはようございます」と声を掛けた。学校近くの交差点では朝日中学校の生徒と一緒に活動できた。10月は、児童会役員も子供たちも恥ずかしさが先に立って小さな声での挨拶になりがちであったが、11月には、大きな声で元気よく挨拶ができるようになった。また、地域の方も挨拶を返してくださったり会釈をしてくださったりした。



【あいさつまつり（運動）の様子】

(3) 笑顔いっぱい仲よしプロジェクト総会

地区長や公民館長、パトロール隊長など、地域の公職者の方をお招きして、8月と12月に総会を行った。

第1回の総会では、プロジェクトの趣旨説明や二つの小学校の取組について発表した。その後、地域の方から感想や意見、激励の言葉をいただいた。第2回の総会では、2校が活動を報告し、協力のお礼を述べた。地域の方からは、下校時を中心にパトロール隊として活動しながら挨拶をしていること、挨拶を返してもらえるとうれしいこと、挨拶が返ってこなくてもあきらめずに続けてほしいことなど、これからの活動の支えになる話をいただいた。

(4) 朝日幼稚園、朝日中学校との交流

7月と12月に、1年生が生活科の授業を通して、朝日幼稚園の子供たちと交流した。7月は「みずでっぼうランド」と称して、1年生が水鉄砲を使ったゲームを考案し、幼稚園の年長児に楽しんでもらった。11月には、「あきランド」と称して、幼稚園児にもっと喜んでもらおうと木の実や松ぼっくりなどを使って7月時より大掛かりなゲームを1年生が作って交流した。幼稚園年長児が楽しめるようにと知恵を出し合ってゲームを考え、優しく案内する姿はほほえましかった。2月には一日入学でもう一度交流する予定である。



【「あきランド」の様子】

1月には、6年生が朝日中学校を訪問して清掃活動の様子を中心に見学し、中学校の生徒の姿から、中学生になる心構えを学ぶ予定である。

3 実践の成果や課題

- ・ 児童会役員を中心に、東刈谷小学校と連携して地域を巻きこんだあいさつ運動を行うことで、子供たちが地域とのつながりを実感するようになった。そして、地域や学校をよりよくするための活動を計画して実践する喜びを味わい、実践力を育むことができた。
- ・ あいさつ運動にはこれまでも取り組んできたが、全校で一人一人が挨拶のよさについて考え、様々な取組を行うことで、進んで挨拶をする子供が増えた。児童会役員が行ったアンケート調査結果によれば、「いつも挨拶をしている」が81%から94%に増加し、挨拶が苦手だと答えた子供が19%から6%に減少した。
- ・ 横断幕やポスターの掲示、回覧板、総会等を行うことで、学校の取組を地域の方に知っていただき、協力を得ながら活動することができた。
- ・ これからも、挨拶で地域を盛り上げるとともに、同じ中学校に進学する東刈谷小学校はもとより、学区の幼稚園や保育園、中学校とも連携して教育活動を行うことで、地域とのつながりを大切にしたい豊かな心を育む教育活動を展開していきたい。